

グループホームまみや 第46回地域運営推進会議

管理者 佐藤 三千代

令和元年 11月 22日(金)

13:30~14:30

「進行内容」

1、グループホームまみやの現状報告

利用者様状況

91歳・・・女性2名 85歳・・・女性2名 83歳・・・男性1名
81歳・・・女性1名 76歳・・・女性1名

女性6名 男性1名 計7名 平均年齢 84,6歳

要介護1・・・1名 要介護2・・・2名 要介護3・・・1名
要介護4・・・3名

平均介護度 2,9

2、ヒヤリハット、事故報告

ヒヤリハット R元年10月1日～ 11月12日迄・・・21件、事故報告・・・1件

3、車椅子を使用するの介助のしかた。

4、その他

令和元年第46回 グループホームまみや地域運営推進会議 議事録

会議日時	令和元年 9月 22 日 金曜日		時間 13:30 ~ 14:30	
場所	グループホームまみやリビング			
議題	1、グループホームまみや入居者の現状 2、ヒヤリハット、事故報告 3、車椅子を使用しての介助のしかた 4、その他			
出席者	地域住民代表 1名	民生委員 1名	間宮区副区長 1名	
	民生委員 1名	ご利用者 1名	職員 4名	
ご利用者の状況	1 ユニット			合計
	男性 1名	平均年齢	83歳	男性 1名
	女性 6名	平均年齢	84.8歳	女性 6名
				年齢 84.6歳
介護区分の分布	要支援2 0名	要介護1 1名	要介護2 2名	要介護3 1名
			要介護4 3名	要介護5 0名
				平均介護度 2.9
11月に看取りをさせて頂きました。現在空室2有り。				
ヒヤリハット、事故報告書				
R元年 10月1日 ~ 11月12日迄 ヒヤリハット 21件 事故報告書 1件				
管理者 市町村へ提出する事故報告書に付いてですが、事故が起きたが受診せず、往診対応の医師に電話にて報告、連絡、相談した場合又その日がたまたま往診日により相談し様子見をするようにと、医師から言われた場合も市町村に事故報告書を提出しますか。				
福祉課 往診の医師に報告、連絡、相談の場合も受診と同じ。たまたま往診日ならケースバイケースの時もある。誤薬や転倒なども大きな事に繋がる前に届け出は必要。				
「車椅子を使用しての介助のしかた」				
別紙参照 車椅子を使用しての介助の仕方補足説明のみ記載				
車椅子の種類 大きく分けると、介助用・自走用があるが、自走用は車輪が大きく、手に触れる事が措きうる為、特に認知症の方には向いていない。				
その他				
12月7日(土)外部評価を受けます。 12月23日(月)実地指導を受けます。				
10月12日(土)台風19号に対する対応と状況について				
管理者 前日より入居者様の避難対策等について本部と検討する。他部署の4階に避難誘導する				

かどうか検討したが、入居者様2名は重病者、3名に在宅酸素対応者等、ベットの必要性や移送事態のリスクが大きいと判断し、グループホームに留まる事となる。前日より備蓄品等の準備を行う。インターネットにて川状況を時間にて知らせてもらう。入居者様は落ち着いていらして、事故もなく普段と変わりなく過ごされていた。当日勤務者の中で仕事時間に帰宅できない職員有。夜間事務所内のスプリンクラーの作動装置が誤作動を起こし鳴りだす等。まみやは浸水想定区ともなっており、今回の台風により被害は受けなかった物の、いくつかの課題が残された。

福祉課

今回の台風により、間宮・塚本・肥田・新田が被害にあった。施設避難に対しては、ぶなの森・みどりが丘ホーム・白寿園に避難する事は可能だがその時は、早めに町に連絡を入れる事が必要です。

次回予定

令和2年 1月24日(金) 時間13:30～

ヒヤリハット R元年 10月1日 ~R元年11月12日迄 21 件

日時	内容	対応	要因分析/対策	場所
10月1日 16:00	居室内より「ガリガリ」との物音有り。何をしているのか居室内を見ると、携帯電話を衣装ケースの角と窓枠にあて、磨いていた。	携帯電話は磨くものではない事を説明する。	・認知症の進行もあり、急に思いついた。 ・その都度の説明をする。行動の見守りをする。	居室
10月1日 18:50	夜勤者、薬のセットをしている際当日の日付の昼の薬が事務所内の薬箱の中に残っていた。	ごみ箱の中より、昼間の服薬の空袋を探し確認する。昼の服薬はしているが、日付の違う服薬袋が出て来る。薬の日付を変更する。	・前日の夜勤者と遅番、当日の遅番者の日付の確認が出来ていない。・服薬セット時の確認と、服薬時の確認をしっかりと行う。	休憩室
10月1日 7:00	起床時ベットから車椅子へ移乗する際、二人で対応するがバランスタイミングが合わず何度か床に座って頂く。	急遽本人のタオルケットを下に敷きスライド式で、車椅子へ移乗する。	・介助時ご本人がベット柵につかまりなかなか手を離さない。体の浮腫み多く二人介助でも重く持ち上がらない状態である。・今後タオルでの移乗、車椅子変更の検討をする。	自室
10月2日 8:30	他の利用者様のトイレ介助時トイレ内に置かれていた、Y様の使用前のパッドがむしられて床に落ちているのを発見する。	パッドを片付ける。	・トイレ自立者がトイレに入り急に思い立ちトイレ内にあった本人が使用していないパッドをちぎった。・トイレに入った時は、観察、見守りを行う。パッドが置かれていない、トイレに言葉掛けし誘導する。	東側トイレ
10月2日 11:35	昼の薬の服薬をしていたがこうと思ったら、薬袋の中に、1錠入っているはずの薬が半錠しか入っていなかった。	日付最終日の薬を出し服薬していただく。薬局に確認の連絡を入れる。	・薬局が薬を作る時に見落としたりした。 ・薬確認者薬セット時に気付かなかった。 ・服薬セット時の確認をしっかりと行う。	リビング
10月4日 0:30	居室内で翌日の入浴の準備をしている際、下着を出そうと箆笥の一段目の引き出しを開けると、便汚染したショーツが出て来る。	ショーツを取り出し、石鹸水につける。	・認知症も有りご本人のプライドも有り、見られなくなかった。 ・本人が居室に居ない時に箆笥の中の確認を行う。	居室
10月9日 13:00	明けの職員より、昨日夜に洗濯したはずの靴下の片方が見つからないので日中の職員に探してほしいとの申し送り有り。	洗濯機の隙間等探すが見当たらず。昼後洗濯物を取り込む際外デッキの下に落ちていた。	・明けの職員が洗濯物を外で干し、デッキ下に落ちた。 ・洗濯物を干す時、洗う時に注意する。	外デッキ

10月9日 15:20	顔を見ると左右鼻の下付近に擦り傷が2箇所あった。	本人に話し、ワセリンを塗る。	・髭剃り時に、電気カミソリで擦れた。 ・1日の髭剃り回数が増えている。(4回の時もある) ・髭剃り時は見守り言葉掛けする。	リビング
10月10日 9:10	職員清掃中見ると、キッチンの中に入り炊飯器のふたにさわり開けようとしていた。	ご飯を炊いているのでふたを開けないでくださいと説明する。	・思い付きキッチンに入り炊飯器が目につきご飯が炊けているかどうか気になった。 ・キッチン内に入りそうな時は見守りする。	キッチン
10月19日 14:10	入浴介助中、身体を洗っている最中急に洗面器を置く場所に両足を乗せる。	説明し、足を下ろしていただく。	・急に思い付き行動に移した。 ・日頃より急に思い付き行動することが有る為、事故に繋がらないように見守り対応する。	浴室
10月20日 9:10	清掃時居室に入ると、点滴の充電器本体のコードが抜けていた。	コードをすぐに差し込む。	・ベットの左右を開けている為、コード側に職員が介助時入り抜けた。 ・グループホームにて援助対応者が居室内床拭き時触れ抜けた。 ・居室に入った際注意する。	居室
10月20日 13:40	右手に縦1.7cm位のお菓子を手に持ち口に入れようとしていた。	すぐに本人の手より取りあずかる。	・職員の夜勤食がこぼれ落ちた。 ・夜間時職員個人の持ち込み物をリビングで食べる時は注意する。 ・入居者様のテーブルの上には必要以上の物は置かないようにする。	リビング
10月24日 17:40	夕食後の食器洗い時、Y様の箸の先が片方かけている事に気付く。	危ないので処理する。	・毎日使用している為劣化した。 ・食器洗い時等に破損等ないか注意する。	キッチン

10月29日 15:50	入浴後の衣類洗濯後干す時に衣類にティッシュペーパーが沢山付いていた。	衣類がを乾かし、ガムテープにてとる。	・いつも気を付けていた人ではなかったので気にせず洗ってしまった。 ・衣類にポケットがある場合は、必ず確認するようにする。	リビング
11月4日 7:25	朝の点眼時、本人のティッシュペーパーケースの中に洗面台で使用するペーパータオルが入っていた。	ご本人に説明し、外させて頂く。	・Dr往診対応時に出した物が片付けられておらず、所定の場所に戻されていなかった。 ・その場所に必要なくなったものは、所定の場所に戻すようにする。	リビング
11月7日 16:50	色鉛筆を横にして口に銜えている事に気付く本人の近くに行くと、色鉛筆の方向を縦に変え口に入れなめていた。	ご本人に説明し、外させて頂く。	・色塗り、書き物をする時に、昔の習慣が有り、行動に出る。 ・必要ない時は手元付近に鉛筆類を置かない。書き物をしている時は、見守りを強化する。	リビング
11月7日 18:30	FAXの受信確認すると翌週の食材発注がされていないとの業者からのFAX有り	確認後業者にFAXを流す	・日曜日の早番者の発注忘れ。 ・日曜日の早番の仕事をしっかり把握する。	事務所
11月8日 14:20	職員事務所内にて工作中、玄関のチャイムが鳴る。見ると玄関の扉を開け外に出掛ける所だった。	そのまま一緒に外に行き、会社対応の畑で、花を摘み柿をとり戻って来る。	・天気が良いので外に行きたくなった。 ・以前より単独外出される方なので行動を見守る。	玄関
11月10日 9:40	居室の、エアコンのフィルター清掃時、見るとエアコンのホースカバーがなくなっていた。	付近を探すが見つからず。	・ご本人が外し居室のどこかにしまった。 ・エアコン本体にふれる事があるので、居室に入った時は注意し見守る。	居室
11月10日 15:00	ホームにての支援者のおやつを席の上に置いてあったが、他の入居者様に「もう来ないから」と言われ食べてもらおうとしていた。	時間になれば来られることを伝え、キッチン内におやつを置く。	・近くにあったおやつが余った物だと思った。 ・席に付いていない方のおやつはキッチン内に置く	リビング
11月12日 23:00	居室を訪室する際冷たい空気が流れていた為、窓を確認すると、窓が開いていた。	すぐに、窓を閉める。	・職員の閉め忘れと確認不足。 ・一日の出勤者全員が戸締り確認をする。	居室

車椅子の種類

介助用と自走用

リクライニングやスイング式など色々な車椅子がありますが大きく分けると自走用と介助用になります

移乗介助（移動介助）

移動するとは重心を移動させること、重心移動と言います

重心を移動させないと立つ事も歩くことも出来ませんそれを助けるのが移乗介助です

移乗に役立つ古武術の動き

重心移動のために使う筋肉はみな大きな筋肉です。しかし介助するときには腕の小さな筋肉に頼っていませんか。例えば立ち上がるときには下半身の大きな筋肉をたくさん使っています。大きな筋肉を使って立ち上がろうとしている人を介助するには介助者も大きな筋肉を使わないと介助者の体が壊れてしまいます

手を使って介助しているのに手の筋肉を使わないって変な話と思われるかもしれませんが肘を動かしているのは小さな上腕に有る筋肉です。（上腕筋、上腕二頭筋、三頭筋）しかし肩（肩甲骨）を動かしているのは体幹に有るとても大きな筋肉です。（大胸筋、三角筋、僧帽筋、広背筋など）慣れてくると、胸最長筋や腹直筋のようなインナーマッスルも使えるようになります。古武術の動きが介助の役に立つのは、これらの大きな筋肉を使って戦うのからです。武術の鍛錬とは筋肉を大きくする事では無く。筋肉を上手に使えるように訓練する事です。

腰痛を起こさず介助に役立ち

余裕で介助出来るから介助してもらおう人にも優しい東洋式体術。

西洋の体の使い方と東洋の体の使い方

体をネジって打つボクシングと下半身を土台にして、頭突きのように体を前に出して打つ空手

背骨を回転軸にして歩く西洋式の歩き方（1軸歩行）と一歩ごとに左右の足に回転軸を移動させる東洋式の歩き方（2軸歩行・難場歩き）

2軸歩行で歩行介助してみましよう


同調（シンクロ）

実験1 同調の実験

- ① 大きな振り子が向き合った二人の間を揺れているとイメージする
- ② 最初は何も考えず相手のおでこを押してみる
- ③ 次に振り子をイメージして振り子が相手の方に振れて行くときに押してみる

前に進む力が大きい2軸歩行

実験2 1軸歩行と2軸歩行の強さの違い

- ①  まずは1軸歩行で通せんぼしている人を押してみる
- ② 2軸歩行で押してみると、どうなるでしょう
- ③ 体を固めると効果的

実践1 利用者様と自分をシンクロさせて歩いてみる。上手に歩けるでしょうか？

自然に2軸歩行（難場歩）になっていることに気づきましたか

太極拳の動きで移乗介助してみる

古武術では下半身は歩くための物では無く上半身の力を相手に100%伝えるための土台と考える

下半身を固定し筋肉を固めると腰痛になりにくく体を痛めない移乗が出来る。

利用者様も大きな力で軽く介助してもらえるから楽ちん。

準備体操

- ① 肩甲骨を動かしてみる
- ② 古武術式のスクワットをやってみる
- ③ 太極拳の投げ技の動きをやってみる（太極拳体操でよく見ます）

実験3 太極拳の動きと普通の引っ張り方で引っ張りっこを試してみる

実践2 移乗の動きをやってみましよう

車椅子の種類

介助用と自走用

リクライニングやスイング式など色々な車椅子がありますが大きく分けると自走用と介助用になります

移乗介助（移動介助）

移動するとは重心を移動させること、重心移動と言います

重心を移動させないと立つ事も歩くことも出来ませんそれを助けるのが移乗介助です

移乗に役立つ古武術の動き

重心移動のために使う筋肉はみな大きな筋肉です。しかし介助するときには腕の小さな筋肉に頼っていませんか。例えば立ち上がるときには下半身の大きな筋肉をたくさん使っています。大きな筋肉を使って立ち上がろうとしている人を介助するには介助者も大きな筋肉を使わないと介助者の体が壊れてしまいます

手を使って介助しているのに手の筋肉を使わないって変な話と思われるかもしれませんが肘を動かしているのは小さな上腕に有る筋肉です。（上腕筋、上腕二頭筋、三頭筋）しかし肩（肩甲骨）を動かしているのは体幹に有るとても大きな筋肉です。（大胸筋、三角筋、僧帽筋、広背筋など）慣れてくると、胸最長筋や腹直筋のようなインナーマッスルも使えるようになります。古武術の動きが介助の役に立つのは、これらの大きな筋肉を使って戦うのからです。武術の鍛錬とは筋肉を大きくする事では無く。筋肉を上手に使えるように訓練する事です。

腰痛を起こさず介助に役立ち

余裕で介助出来るから介助してもらおう人にも優しい東洋式体術。

西洋の体の使い方と東洋の体の使い方

体をネジって打つボクシングと下半身を土台にして、頭突きのように体を前に出して打つ空手

背骨を回転軸にして歩く西洋式の歩き方（1軸歩行）と一歩ごとに左右の足に回転軸を移動させる東洋式の歩き方（2軸歩行・難場歩き）

2軸歩行で歩行介助してみましよう


同調（シンクロ）

実験1 同調の実験

- ① 大きな振り子が向き合った二人の間を揺れているとイメージする
- ② 最初は何も考えず相手のおでこを押してみる
- ③ 次に振り子をイメージして振り子が相手の方に振れて行くときに押してみる

前に進む力が大きい2軸歩行

実験2 1軸歩行と2軸歩行の強さの違い

- ①  まずは1軸歩行で通せんぼしている人を押してみる
- ② 2軸歩行で押してみると、どうなるでしょう
- ③ 体を固めると効果的

実践1 利用者様と自分をシンクロさせて歩いてみる。上手に歩けるでしょうか？

自然に2軸歩行（難場歩）になっていることに気づきましたか

太極拳の動きで移乗介助してみる

古武術では下半身は歩くための物では無く上半身の力を相手に100%伝えるための土台と考える

下半身を固定し筋肉を固めると腰痛になりにくく体を痛めない移乗が出来る。

利用者様も大きな力で軽く介助してもらえるから楽ちん。

準備体操

- ① 肩甲骨を動かしてみる
- ② 古武術式のスクワットをやってみる
- ③ 太極拳の投げ技の動きをやってみる（太極拳体操でよく見ます）

実験3 太極拳の動きと普通の引っ張り方で引っ張りっこを試してみる

実践2 移乗の動きをやってみましよう